



雪崩・地すべり 研究センターたより

第 88 号
2022 年 4 月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

主な記事
 ・今冬の雪をふりかえって ・新任者あいさつ ・令和 4 年度メンバー
 ・令和 4 年度研究テーマ ・今年も満開の桜が咲きました



令和 4 年 4 月 13 日撮影 (左上も同)

今冬の雪をふりかえって

今冬の北陸地方は、当初は寒気の南下が弱かったものの、12 月後半以降は断続的に寒気が流れ込みました。特に、2 月上旬及び下旬は冬型の気圧配置が強まり、気温は平年より低く、降雪量は多くなりました。

当センター構内では、2011-12 シーズン以来 9 年ぶりの大雪となった昨冬と比べ、降りはじめは遅かったもののクリスマス寒波以降断続的にまとまった雪が降り、2 月 3 日からの降雪で一気に昨年同時期の積雪深を追い越しました。2 月中旬には冬型の気圧配置が緩んだものの、20 日から強い寒気が南下して今冬一番の大雪となりました。

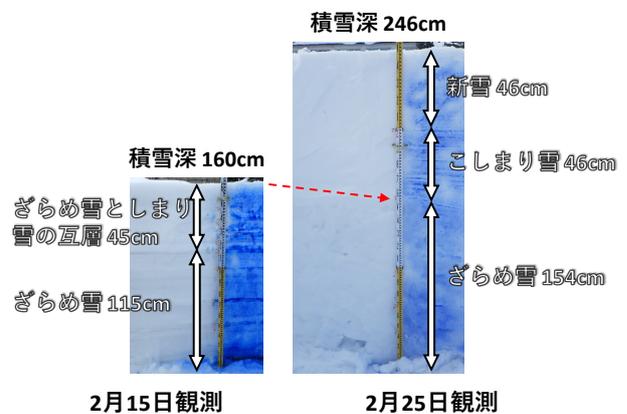
構内で実施している積雪深の観測結果から、2 月 23 日夜には昨冬の 251cm を 40cm 以上も上回る最深積雪 294cm を記録し、過去 11 年間で 2 番目の大雪となりました。大雪後の 2 月 25 日に実施した積雪断面観測では、古いざらめ雪の上に降り積もった「こしまり雪」「新雪」の層が確認できました。

なお、2 月 23 日は、最深積雪が出現した日としては、過去 11 年間の観測で最も遅い記録となります。また、積雪の終日も 4 月 3 日と新年度まで積雪が残り、2011-12 シーズンの 4 月 18 日に次ぎ過去 11 年間で 2 番目に遅い記録となりました。



▲センター構内の積雪深

(観測期間：令和 3 年 12 月から令和 4 年 4 月)



▲センター構内の積雪断面

(令和 4 年 2 月 15、25 日)

新任者あいさつ

■上席研究員 吉柳岳志 (きりゅうたけし)

新庄河川事務所（山形県新庄市）から来ました。新庄も豪雪地でしたが、雪は場所によって違うので冬が楽しみ(?)です。

新潟県は平成15・16年の県砂防課勤務や隣接富山県勤務などで少しか馴染みがありますが、妙高に住んでよりじっくりとこの地を巡りたいと思います。皆様よろしくお祈りします。



■主任研究員 高原晃宙 (たかはらてるよし)

4月から当センターに赴任いたしました。前任地は、『四国のへそ』と言われる徳島県三好市にある四国山地砂防事務所にて2年勤務しておりました。妙高にて砂防関係のうち雪崩や地すべりの研究に取り組むことは非常にやりがいがあると考えております。あわせて、妙高をはじめとした新潟の街めぐりも楽しみたいと思います。どうぞ、よろしくお祈りします。



令和4年度メンバー



上席研究員	吉柳 岳志	非常勤職員	飯塚 真理子
主任研究員	高原 晃宙	非常勤職員	瀧澤 美保子
非常勤職員	渡辺 伸一	運転手	早津 稔
非常勤職員	富里 加代子		

※令和3年度に在職していた判田乾一上席研究員、奥山悠木主任研究員は、令和4年4月付けでそれぞれ国土交通省（東京都）、土木研究所（つくば市）へ異動となりました。

令和4年度研究テーマ

今年度の雪崩と地すべりに関する研究は、それぞれ以下の課題を主要テーマとして取り組みます。

<雪崩>

- ・斜面对策施設の雪崩への効果も評価した雪崩災害ハザードエリア評価技術の開発(主要研究：R4～R9)

<地すべり>

- ・広域融雪水量推定に基づく斜面災害発生リスク評価に関する研究(重点研究：H30～R4)
- ・三次元CIMを活用した抑制工の配置計画手法に関する研究(基盤研究：R2～R4)

今年も満開の桜が咲きました



センター敷地内に植えられているソメイヨシノは、センターの前身である「新潟地すべり試験所」発足時(昭和35年)から植えられており、毎年春になると、一斉に華やかな姿を見せてくれます。

今年は、いつもより遅い開花となりましたが、見事な花が咲き、職員の心を和ませてくれました。(写真は、4月13日撮影)

バックナンバーはこちらから▼

https://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/publication/nadare_tayori.html



発行：国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所
土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター
住所：〒944-0051 新潟県妙高市錦町2-6-8
TEL：0255-72-4131
<https://www.pwri.go.jp/team/niigata/top.html>



掲載内容は現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により、内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承ください。